

不登校になっている君たちへーその2

ひげぐま先生より

1. 「どうしたらいいかわからない。だから、どうしたらいいか決められないから、悩んでいる」君へ

「分からないなら、どうして人に聞かないの？」と私は思います。君の本音は「嫌なこと、則ち、学校に行くことを避けたいんじゃない？ どうしたらいいかは分かっているんじゃない？ そう、学校に行くことと分かっている、それができないだけで、人に聞かないんだよね。

「悩んでいるんだったら、それを解決したくないの？」と私は思います。でも、君は不登校の解決＝学校に行くことと思っているから、解決したくないんだよね。

「毎日家にいたままで、どうしたらいいか分かるの？」と私は思います。でも、君は、それは学校に行くことと思込んでいるから、分かっている、分かったくないと言っているんじゃない？ 分かると言えば、今の不登校の状態から、何らかの状態、つまり、登校するとか、学習するなどの状態に変えさせられると思っているから、嫌じゃない？

じゃあ、君ね、「何のために家にいる？」と考えてみて。これは、心理学者・アドラーが述べてる目的論なんだけど、そう考えると、「友達の嫌な視線から、自分を守るために、家にいるんだ」とかさ、「勉強が分からなく、学校の机に座っている辛さから自分を守るために、家にいるんだ。」とかさ、自分の気持ちが素直に分かるよ。それって、分かっているだけだね。

2. 「何のために勉強するのか分からないから、学校に行かない」と言う君へ

君も知っているよね。今の社会では、君も一定の年齢（成人）に達したら、親の扶養（養ってもらふこと）からはずれ、何らかの仕事をして収入を得て生活します。そして、その多くは結婚して家族生活を営みます。日進月歩科学技術が発達し、世界のトップレベルに発展した、現在の高度な科学技術社会で働くための最低限の技量を身に付けるのが、小中学校 9 年間の勉強です。それだけでは足りないと思う子は、高校や専門学校、大学、大学院にも行きますね。

従って、今の社会で生活していくために、勉強するんですね。分かるよね？ それを学校に通って学んでもいいし、自宅を含めて学校以外の場で学んでもいい。その技量を身に付けて、社会で生きていくんだよね。

「何のために勉強するのか分からない」とは、とことん勉強した人が言う言葉だと思うよ、私は。とことん勉強したあ？

3. 「将来なりたいものもないし、高校もいかないから学校に行かないし、勉強もしない」と言う君へ

この前で言ったように、人は社会で生きていくために勉強するんです。中学 3 年生の公

民で学ぶけど、今の日本の憲法では働くことは権利であるけど、同時に義務なんです。働いて税金を納めることは義務です。その税金で市町村に都道府県、日本政府が運営され、私達の生活を守っています。だから、怪我や病気をしても安い費用で治療を受けられ、亡くなっても葬ってくれます。それ故、税を納めなければ、家や貯金などの財産を没収されますね。

また、今の日本の法律では、成人するまでは子どもは、親権者である親の親権に服さなければならないから、最終的には親の指示に従わなければならないし、公権力（警察力）を用いても、親の指示を履行できます。その代り、親には子どもを扶養する（養っていく）義務があるんですね。

4. 「我慢して学校に行きたくないから、学校に行かないし、自由に生きたいから、勉強しない」と言う君へ

今の社会では君の言うように、自由に生きていくことはできません。自立とは、我慢を身に付けていくことです。飲み放題、食べ放題から1日3食に我慢する。おしっこやウンチをオムツにし放題を、トイレでする我慢を身に付けるなどですね。小学生でも自立することは、無理ではないはずだよ。

5. 「やることがないから、ゲームする」と言う君にへ

ねえ、君。以上のことから考えれば、ホントはやることはい〜ぱい、あるよね。でも、今のゲームは簡単に勝利を手に入れ、達成感を味わえる。負けても、簡単にリセットでき、再挑戦できるんだよね。しかも、昔のファミコンやプレステは、新しいものが出れば買わなければならないが、今はインターネット上で自動更新され、更新されたゲームを楽しむんだよね。だから、ゲームにはまり、朝起きれなく生活が乱れ、学校に行けなくなるんじゃない？

ゲーム依存も、自立不全の一つだよ。

以上、私が君たちに言ってきたことをよ〜く考えて、君たちね、これからどうするか、自分のことは、自分で決めよう！そして、その自分が決めたこと（言ったこと）に責任を持ち、自立しよう！

私は、応援します。ご連絡、待ってます。

ひげぐま先生の相談室 電話 0120-44-1304